

My Town Topics

地域の行事や身近な話題、耳よりな情報をお待ちしています。



↑「小学生時代からプロになることが目標」などと語る平田さん

★ 鷹巢中で立志式の記念講演 目標を持つ先輩がエール

鷹巢中学校PTA（江良登喜男会長）は2月2日、2年生が立志式を迎えた記念として、全校生徒を対象に講演会を開きました。

講演会では、同校を卒業し、鹿児島実業高校、駒澤大学を経て、社会人野球の新日本石油ENEOS野球部に在籍している平田大門さん（24＝薄井出身）が「野球を通じて学んだこと」と題して演説しました。平田さんは同部に入社後、都市対抗野球大会などに出場し、現在、副主将も務めています。

講演で平田さんは、中学時代の思い出や社会問題となっているイジメなどに触れながら、「死ぬ気になったら何でもできるので、目標を持つ。悩んだときは、必ず味方になってくれる親に相談をしよう」と訴えました。

同校の野球部でピッチャーをしている濱島純平君（2年）は「陰で努力をされてきたんだと感じた。自分に足りないものを身につけていきたい」と決意を新たにしていました。

★ 川床小と田尻小が全校交流 机並べて学び、給食も楽しむ

川床小学校（大藺一法校長・108人）と田尻小学校（針原正弘校長・29人）は2月28日、川床小で全校交流を実施しました。

複式学級の田尻小の児童が、単式で授業を行っている川床小のそれぞれの学年に入り、机を並べて国語や算数などを学び、給食も一緒に楽しみました。

6年の授業には、共に通うことになる川床中学校の生徒会の役員が駆けつけ、生徒会活動や学校行事、部活動など中学校生活を紹介。児童たちからは「先輩には敬語を使ったほうが良いのですか」「生徒会の仕事は楽しいですか」などの質問が飛んでいました。

この交流は来年度も3回実施する予定で、中学生も交えて、英語も取り入れていくそうです。



↑両校の児童が交じてドッジボールやバスケットボールを楽しむ



←中学生から、写真を使って中学校生活の説明を受け、興味深く耳を傾ける児童たち